

折板構造を体験する

10gのたった1枚の紙が、数百倍の重さに挑戦する！

曲げると強くなる

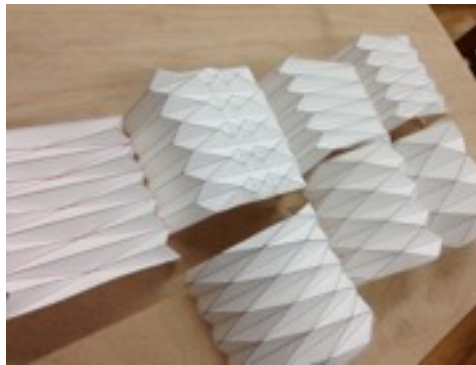


自分の重さで垂れてしまう1枚の紙も、曲げてやればボールペンくらいの重さの物を持ち上げることはできます。

曲げ具合をどんどんあげて行くと、それはやがて「折る」という行為になります。ダンボールの断面を想像してください。



7つのタイプ



7つのタイプから好きなものを選んで折板構造の屋根をつくります。ボールペンで折り目をしっかりとつければ綺麗に折る事ができます。

テーマはより美しく、より強くです。

強度試験



たった10gの紙も4kg, 5kgの重さに耐えることができます。自分の重さの数百倍の重さに耐えていることを想像してみてください。



...たぐいにくい...とっわれていた! ②
 足、部分をもう少し強くする...
 ③ はい、どうしたら、「重さ」にたえられ
 ました。また、建築物などはどういう工
 夫だろうと疑問に思いました。京都タワー
 タワーはとて高いのに、かたもく
 えています!! どうしたら、あんなに高い建
 物にたえているのかと、とても疑問に思
 ったと思います。 (4冊目の構造から)
 1枚で本2冊をたえれた事におどろまし
 くなっています。たえれるとは思、ていま
 上げるまでは難しかったです。



やっぱり紙はすごい

「どうやったら重さに耐えられるかということを考えました。また建築物等はどういう工夫がされているのだろうと疑問に思いました。京都タワー、スカイツリー、などのタワーはとて高いのに、傾く事なくずっと耐えています!! どうやったらあんなに高い建物が傾かずに作られているのかと、とても疑問に思ったので今度、建物の構造などを調べてみようと思います。」(H.H)